

## ボツワナ共和国月報(2019年8月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- ボツワナ国会の解散
- BMD除籍に関するUDCの勝利
- 選挙日程の発表

#### 【外政】

- 控訴裁判所によるナミビア難民強制帰還差止命令の撤回
- 現地市民団体, TICAD7に向けて準備
- ダウ外務国際協力大臣のTICAD7への参加

#### 【経済】

- デブスワナ社社長の逝去
- チョッピーズ社, 南ア市場から撤退へ
- ボツワナ銀行, 基本割引率・基準貸付利率を4.75%に引き下げ

#### 【文化】

- オールドパラペ博物館コンセプト, 世界的な賞を受賞

※当地メディア記事等を任意に引用した内容です。

#### 【内政】

##### ○ ボツワナ警察135周年記念式典の開催

3日, 国立競技場においてボツワナ警察135周年記念式典が開催され, 同式典にはマシシ大統領, マシシ大統領夫人などが参加した。(5日: デイリー・ニュース紙)

##### ○ マシシ大統領, 109の法案に署名へ

7日, マラテギ国会議長代理によると, 先日終了した第11期国会では109の法案が承認され, マシシ大統領が同法案に署名する見込み。承認された法案には, 国会給与手当修正法案, (不動産)移転税修正法案, 資産・負債開示法案等が含まれる。(9日: メヒ紙)

##### ○ 国会, 9億ブラの事業承認を否決

8日, 国会は9億ブラ規模の第二次南北水路事業の費用に充てる補正予算案を否決した。同事業は現在の国家開発計画に含まれておらず, 当初7億ブラ規模だった事業費用は9億ブラまで膨らんだ。また, 予算が承認される前に落札者が決まっている等, 不審な点が多く見られ, 与党の多くの議員までもが同補正予算の否決に賛成を投じた。(10日: ウィークエンド・ポスト紙)

### ○ コシ前 DIS 局長の資産凍結

ロバツェ高裁は、脱税容疑と情報保安局(DIS)局員の身元を公表した罪に問われているコシ前 DIS局長の資産を凍結する命令を下した。凍結される資産には農場、車両、牛、銀行口座の現金などが含まれている。(17日:ウィークエンド・ポスト紙)

### ○ 国家石油基金マネーロンダリング疑惑, ようやく公判へ

21日, ブロードハースト南地裁は2億3000万プラ規模の国家石油基金に関するマネーロンダリング疑惑における被告らに対する公判を高裁で開始する旨の判断を下した。同疑惑をめぐっては調査や被告らからの要請により約1年半公判が開始されていなかった。同疑惑ではケボナン前鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣, 同前大臣の弟などが起訴されている。(23日:メヒ紙)

### ○ ボツワナ国会の解散

28日, マシシ大統領は、本年実施予定の総選挙に向けて、8月28日深夜12時をもって議会の解散を宣言した。(28日:政府発表)

### ○ BMD除籍に関する UDC の勝利

29日, ボツワナ高裁は、野党ボツワナ民主運動党(BMD)が申し立てていた野党連合民主改革のためのアンブレラ(UDC)からの除籍は不当だとする訴えを退けた。BMDは、(i)同党を除籍する決定をしたUDCの中央委員会(National Executive Committee:NEC)がUDCの党則に反し、党の総会で決定されず、不当に組織された、(ii)ボツワナ議会党(BCP)がUDCに加盟した際、しかるべきプロセスを踏んでおらず、BCPがNECにいることは不当である、(iii)BMDの除籍を決定した会合は定数に達していなかった等を申し立てていた。ボツワナ高裁は、BMDの申し立てには根拠がなく、UDCは正しい組織を使い、正しいプロセスを踏んでBMDを除籍したと結論付けた。BMDはこの結論に対し上告する構えを見せている。(30日:デイリー・ニュース紙及びメヒ紙)

### ○ 選挙日程の発表

30日, マロバ独立選挙委員会(IEC)報道官は、マシシ大統領及びフランス・ヴァン・デル・ウェスタン地方自治開発大臣が総選挙(国会及び地方議会)に関する詔書を発行した旨発表し、2019年9月21日に大統領候補者登録、同年9月26日に選挙候補者登録(国会57議席、地方議会490議席)、同年10月23日に投票が実施されることとなった。(30日:IEC報道発表及びボツワナ高裁報道発表)

## 【外交】

### ○ 控訴裁判所によるナミビア難民強制帰還差止命令の撤回

控訴裁判所がボツワナ政府の主張を支持したことにより、700名を超える当国におけるナミビア難民は本国に送還されることになる。政府は控訴裁判所に対して、ロバツェ高等裁判所が下したナミビア難民の(ナミビアの)カプリビ回廊への強制送還差止命令を撤回する訴えを起こしていた。(2日:ボツワナ・ガーディアン紙)

### ○ 第一回中国・ボツワナ・パブリック・ディプロマシー会議の開催

1日、ハボロネにおいて第一回中国・ボツワナ・パブリック・ディプロマシー会議が開催され、ザオ中国大使、リュウ中国パブリック・ディプロマシー協会副会長、ハボロネ族長会議議長兼ボツワナ・中国友好協会会長らが同会議に出席した。(6日:デイリー・ニュース紙)

### ○ チブニング奨学金、9人に増加

ケイティ・ランサム英高等弁務官は、今年は英政府の奨学金制度「チブニング奨学金」で通常の7人ではなく、9人採用すると発表した。過去の受給者にはケネウエンド大臣らも名を連ねている。(8日:デイリー・ニュース紙)

### ○ 日・ボツワナTICADステークホルダーミーティングの開催

7日、日本の横浜で28日～30日に開催されるTICADサミットに向けてセミナーが開催された。竹田大使は、日本はボツワナの経済移行にインフラ整備、人材育成及び技術移転で貢献してきたと述べた。また、同大使によると、日本からボツワナへの開発協力は昨年3月までに34億プラに達した。(8日:デイリー・ニュース紙)

### ○ マシシ大統領のアンゴラ訪問

13～14日、マシシ大統領は二国間協力の推進、相互利益に関する地域及び国際問題に関する意見交換のためにアンゴラを公式訪問した。同大統領には、モレフィ大統領府・統治・公共政策担当大臣、カティ司法・国防大臣、モカイラ環境・天然資源保護・観光大臣らが同行した。(14日:デイリー・ニュース紙)

### ○ 仏大使他二名の信任状奉呈

12日、仏大使、ジンバブエ大使及び「西サハラ大使」は、大統領府において信任状奉呈を行い、マシシ大統領は3名の大使を歓迎した。(14日:デイリー・ニュース紙)

### ○ ブルーカード導入の発表

ンガカ国家・移民・ジェンダー大臣は外国人と結婚し、二重国籍を認められていない国に移住した元ボツワナ人に対し、ブルーカードを発行することを発表した。同カードは有効期限がなく、定めら

れた入国口で発行される。同大臣はボツワナに90日間の滞在が可能な外国人と同様にボツワナの人々を扱うことは不平等である旨発言した。(15日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 現地市民団体, TICAD7に向けて準備

13日, 現地市民団体であるアフリカのための市民委員会は, ハボロネにおいて8月終わりに日本の横浜で開催されるTICAD7を前に共通の立場を検討する会合を開催した。同会合には竹田日本大使, 共催者である世界銀行当地事務所代表, UNDP当地事務所代表他, 山田JICA支所長などが参加した。(16日:ボツワナ・ガーディアン紙)

#### ○ デンマーク大使他三名の信任状奉呈

16日, デンマーク大使, ジャマイカ大使, ブルキナファソ大使及びリベリア大使は, 大統領府において信任状奉呈を行った。(19日:デイリー・ニュース紙)

#### ○ 中国政府奨学金受給者の決定

中国にて軍事訓練コースに参加するボツワナ国軍(BDF)の20名と, 2,000名の応募者より選出された52名が, 中国政府奨学金を受給することが決定された。奨学生らは, 8月31日より中国に向けて出発する予定である。これまで, 合計で600名を超えるボツワナ人学生に中国政府の奨学金が支給されている。BDFの訓練プログラム参加については, 中国・ボツワナ間の軍事交流として毎年実施されることとなった。(23日:デイリー・ニュース紙及びメヒ紙)

#### ○ ダウ外務国際協力大臣のTICAD7への参加

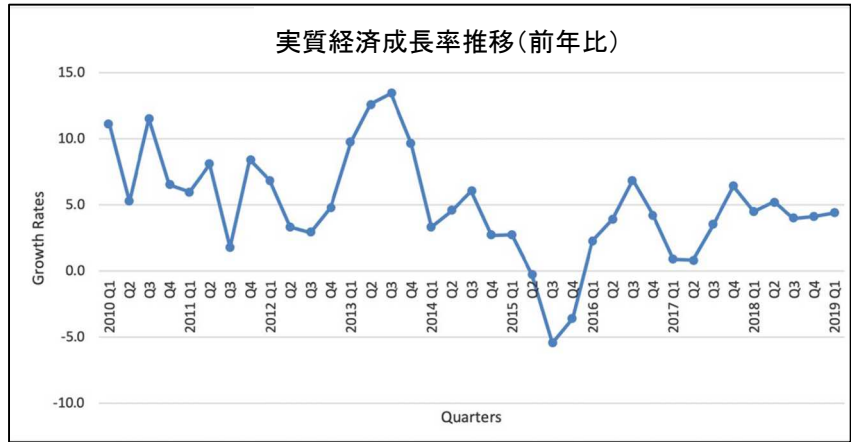
ダウ外務国際協力大臣は日本の横浜で開催されるTICAD7に出席する。26日及び27日に高級実務者会合及び閣僚会合がそれぞれ開催され, 28日及び29日には首脳会合が開催される。同首脳会合ではTICADの三本柱におけるコミットメントの実施に係る進捗がレビューされる見込み。ボツワナからはTICAD首脳会合のサイドイベントとして行われる日本アフリカビジネスフォーラム & EXPOに出席するビジネス代表团も参加し, ケネウエンド投資・通商産業大臣も同行する。(26日:デイリー・ニュース紙)

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

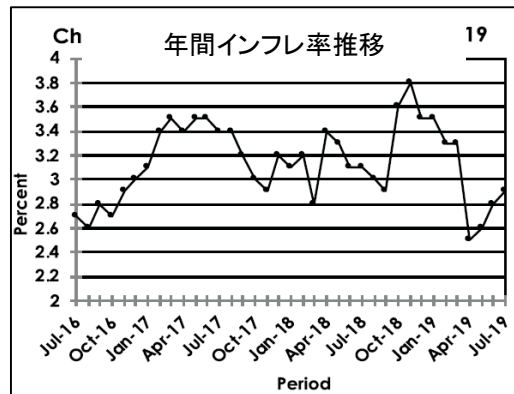
1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2019年第1四半期の GDP は487億2890万プラとなり, 第4四半期(484億9160万プラ)と比べて0.4%増となった。(2018年GDP合計は1898億6850万プラ)



2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2019年7月は2.9%(6月は2.8%)。



3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2019年8月30日

- 1プラ=0.087米ドル
- 1プラ=1.330南ア・ランド
- 1プラ=9.42円

2019年7月31日

- 1プラ=0.091米ドル
- 1プラ=1.280南ア・ランド
- 1プラ=9.97円

[米ドル] 為替推移(1プラ=0米ドル)



[円] 為替推移(1プラ=0円)



## ○ **ダイヤモンド産業**

### 1) **政府, 5年間で約490億プラの配当を享受**

モラレ鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣によると、ボツワナ政府は過去五年間で約490億プラの配当金をデビアスグループから受け取った。同大臣によると、配当金は政府が15%の株式を所有しているデビアス社と50%の株式を所有しているデブスワナ社(当館注:政府とデビアス社の合弁企業)からのものであり、デブスワナ社からの配当金は利益の80.8%がボツワナ政府、19.2%がデビアス社に分けられている。(2日:ボツワナ・ガーディアン紙)

### 2) **デブスワナ社社長の逝去**

デブスワナ社の報道発表によると、15日、ミルトン・デブスワナ社社長はヨハネスブルグで体調を崩して入院し、16日に逝去した。ミルトン氏は2018年12月から社長に指名されており、社員の安全と健康を重視していた。当面の間、同社のアームストロングCFOが社長代理を務める。(19日:デイリー・ニュース紙)

## ○ **エネルギー・資源**

### 1) **Tlou Energy 社と政府, 売電契約について交渉中**

Tlou Energy社は、現在売電契約に関して政府と交渉中である。同社はボツワナで100MW規模のコールベッドメタン(CBM)を用いた発電所の開発への関心表明を提出し、入札評価段階において成功を収めていた。(2日:ボツワナ・ガーディアン紙)

### 2) **BCL社の前清算人, 調査へ**

政府はBCL社の前清算人であるワレン氏をBCL社鉱山坑道における浸水等に関し調査していることを明らかにした。モラレ鉱物資源・環境保全技術・エネルギー安全保障大臣は国会での質疑に答える形で、BCL社鉱山の南東坑道における浸水が最近離任した前清算人の指示であり、同前清算人が当局の助言を無視した旨発言した。(9日:ボツワナ・ガーディアン紙)

## ○ **ボツワナ経済成長率, 4%以上に**

8日、マシシ大統領は、第11期国会の議員向けに開催した昼食会で今年のボツワナ経済の成長率は4.2%、2020年には4.8%となることが予想される旨発言した。(9日:デイリー・ニュース紙)

## ○ **チョッピーズ社の株式取引, 引き続き停止**

スーパーマーケット大手チェーンのチョッピーズ社の株式取引は2018年6月30日締め決算の公表が遅れているために引き続き停止されている。同社グループは新たな監査人が合併、在庫・資産などの再評価を実施していると発表しており、役員会はオッタパトゥCEOを職務停止処分としていた。(9日:メヒ紙)

○ **チョッピーズ社, 南ア市場から撤退へ**

14日の夜に発表された文書によると, モハエ元大統領が議長を務めるチョッピーズ社役員会は南アフリカにおけるビジネスの戦略的な見直しを完了し, 同役員会は南ア市場から撤退することが同社にとって適切な戦略的な決定であると結論づけた。(16日:ボツワナ・ガーディアン紙)

○ **ボツワナ銀行, 基本割引率・基準貸付利率を4.75%に引き下げ**

29日, ボツワナ銀行は, 金融政策委員会を開催し, 基本割引率・基準貸付利率(当館注:従来の公定歩合)を5%から4.75%に引き下げる決定を公表した。インフレ率は2019年6月の2.8%から同年7月の2.9%に僅かに上昇したが, ボツワナ銀行の目標値である3~6%の範囲を下回っており, 2020年の第1四半期には目標値内に戻る見込みである。(29日:ボツワナ銀行報道発表)

【文化】

○ **オールドパラペ博物館コンセプト, 世界的な賞を受賞**

パラペ出身で日本に留学中のセレマ氏(当館注:文部科学省国費留学生)は, デザイナー向けの著名なコンペである2018・2019年A' Design賞コンペにおいて, 提案したオールドパラペ歴史建築保存博物館でブロンズ賞を受賞した。セレマ氏は同デザインではオールドパラペ教会遺跡の現状を維持し, 昔の写真を参考に教会の昔の構造を再建設するために構造上の鉄柱が導入されると説明し, 当局が同デザインの採用を検討することを望んでいる。(16日:メヒ紙)